

びわ湖の環境について考える

ねらい

うみの子の乗船前、乗船後の予習、復習を助けるプログラムです。従って小学5年生以上を対象にしています。

びわ湖のことについて、昔の話(15分)、現在の話(15分)で知識を整理し、びわ湖の問題点を明らかにし(15分)、びわ湖の未来についてみんなで考えるプログラムです。

未来についてはワークショップで4~8人程度のグループで、琵琶湖の良い点、問題点を整理し、自分たちに何が出来るかをまとめる作業(30分)をして、発表会まで指導します。

滋賀県の環境にとって、もっとも大切なびわ湖の様々なことをまなび、環境の大切さを身につけてもらうことを目的とします。中学生、社会人にもアレンジできます。

お申し込みのお願い

- ・ 所要時間：90分
- ・ 参加人員：1クラス以上で5年生以上
- ・ 費用：交通費要
- ・ 締め切り：開催希望日の1ヶ月以上前にお申し込み下さい

その他の出前講座プログラム

- ・ 琵琶湖データ
 - ・ 琵琶湖の水質
 - ・ 琵琶湖クイズ
 - ・ 琵琶湖におけるプランクトン
 - ・ 琵琶湖の水質・開発・災害
 - ・ 琵琶湖の水草
- その他御相談下さい。

お問い合わせ

〒520-0862 大津市平津2-5-1

(滋賀大学教育学部内 425号室)

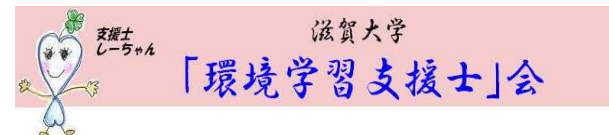
TEL: 077-537-7821(留守電あり)

Email: shienshikai@yahoo.co.jp

ホームページ: 滋賀大学「環境学習支援士」会

URL

: <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~shienshikai425kai/>



びわ湖の環境 について考える



滋賀大学「環境学習支援士」会

環境学習の出前講座

今のびわ湖



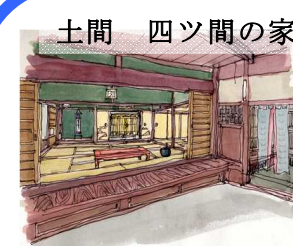
- 湖の開発で内湖や渚が干拓、湖岸堤が造られ、洪水対策がとられた。
- 下水道が普及し、湖の水質改善。
- 予期もしない外来生物に脅かされる湖。

淡海は水の国・道の国



丸子船・牛馬車で物資や文化が湖から・道から流入して来た。交通網の発達で、鉄道・自動車輸送に変化し、急速に文化が流入する時代。伝承した水の文化を如何にして守るか。

昔のびわ湖周辺の生活



びわ湖の問題点

- 滋賀の歴史の中で独自の文化が発達し継承してきた。文化交流が盛んになり、独自の文化が崩れつつある。
- 水草・外来生物の駆除や内湖・里山の整備に対する諸問題。
- 開発により身近な びわ湖・川・山・野原の触れあいが遠くなる。



びわ湖の未来に

ついて考える

びわ湖を
守る

びわ湖との
触れあい

美しいびわ湖の
恵みを受ける

過去・現在から
未来を考える